

川崎市民館・労働会館等5施設の指定管理者制度の導入について

- ・川崎市民館・労働会館
- ・川崎市民館・労働会館大師分館
- ・川崎市民館・労働会館田島分館
- ・川崎図書館大師分館
- ・川崎図書館田島分館



川崎市民館・労働会館完成イメージ



大師分館外観



田島分館外観

経済労働局労働雇用部
教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課

1 川崎市民館・労働会館について

川崎市教育文化会館と川崎市立労働会館の再編整備に併せて、現在の労働会館を大規模改修し、川崎市川崎市民館・労働会館を設置することにより、それぞれの館がこれまで行ってきた社会教育振興事業と勤労者福祉事業を継続するとともに、2つの機能が同一建物内に設置されていることのメリットを活かし、幅広い利用者層に対応した事業・サービスを推進していくものです。

【教育文化会館】

- ・昭和42（1967）年竣工
- ・延べ床面積15,137㎡

各区に1館ずつ設置している市民館の役割を、川崎区において担う施設です。労働会館と同一建物に整備するタイミングで、名称を「川崎市民館」とします。

分館が2館（大師地区と・田島地区）あり、この分館2館には、図書館の分館機能も併設されています。現在は直営で管理していますが、指定管理者制度導入が決まっています。

市民館・図書館の詳細⇒4ページ、17～18ページ

【労働会館】

- ・昭和56（1981）年竣工
- ・延べ床面積9,645㎡

労働組合その他諸団体の健全な発達を図り、福利厚生場を設けることで、勤労意欲の向上に資することを目的とした施設です。

現在は再編整備により休館していますが、休館前は指定管理者により管理されていました。

労働会館の詳細⇒3ページ、19～20ページ

労働会館を改修し、同一建物内へ整備

川崎市民館・労働会館

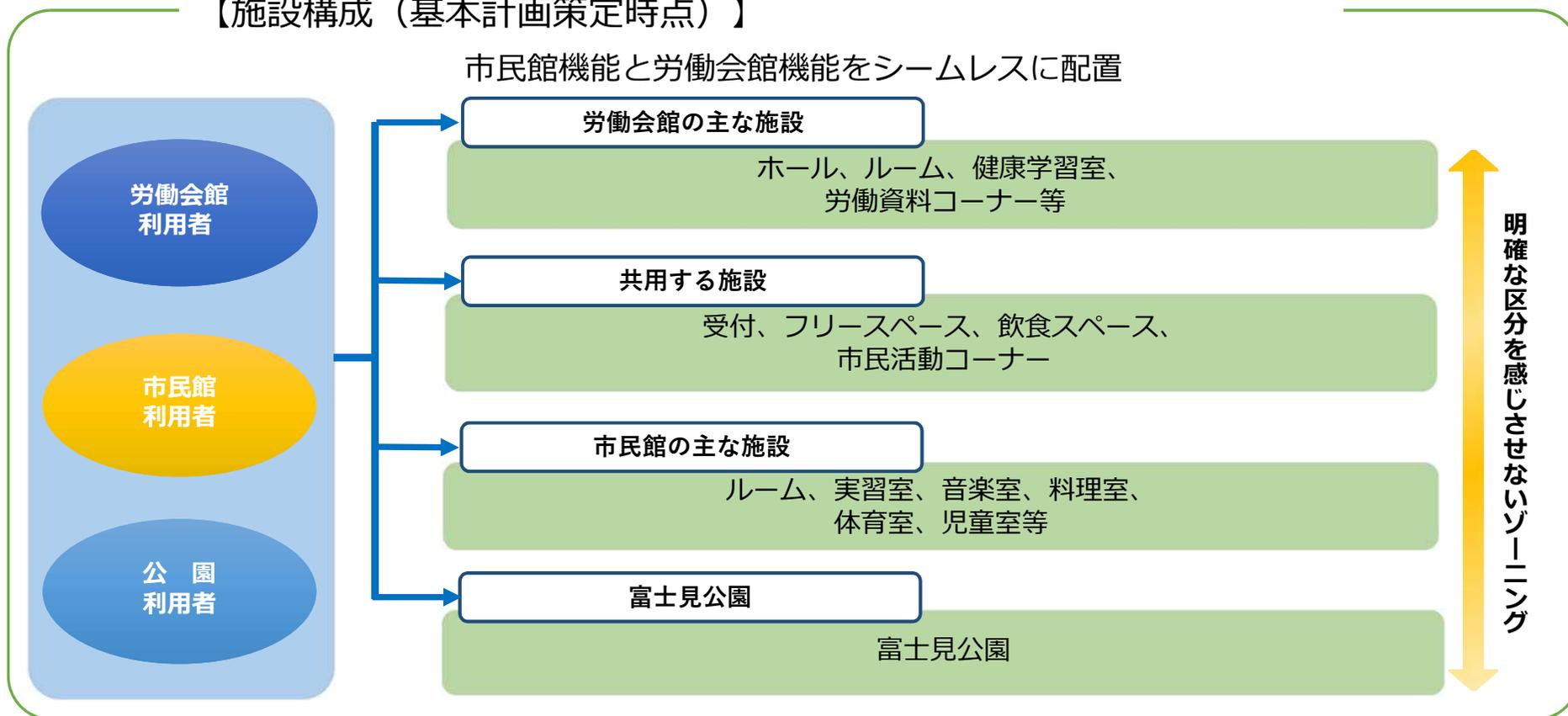
川崎市民館

労働会館

施設利用やスペースの有効活用のため、類似諸室の相互利用や共用施設を有効活用

2 川崎市民館・労働会館の再編整備

【施設構成（基本計画策定時点）】



時期	事項
平成30（2018）年3月	「川崎区における市民館機能のあり方について～再編整備の方向性～」策定
平成31（2019）年3月	「川崎市教育文化会館及び川崎市立労働会館の再編整備に関する基本構想」策定
令和3（2021）年1月	「川崎市立労働会館及び川崎市教育文化会館再編整備基本計画」策定
令和3（2021）年5月	実施設計着手
令和4（2022）年8月	「（仮称）川崎市民館・労働会館 管理運営計画」策定

※詳細は、「教育文化会館の移転に関する検討の状況について」を参照

<https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000098134.html>

3 労働会館について

川崎市立労働会館（愛称：サンピアンかわさき）

設置目的		働く市民や、労働組合その他の諸団体の皆さんが、「いこい」「語らい」「学びあう」ための場として、文化、慰楽、集会等の使用に供し、その健全なる発達を図り、及び労働者のための福利厚生施設を設け、その勤労意欲の向上に資することを目的としています。
構成	地階	電気室、監視室、機械室、厨房
	1階	大ホール（762席）、和室、楽屋、レストラン、売店等
	2階	第1～第6交流室、楽屋 ※平成17年まで利用していた結婚式場関係施設を改修し、交流室を設置
	3階	工芸教室、洋裁手芸教室、茶室（茶庭付き）、研修室等
	4階	特別会議室、第1～第5会議室
	5階	健康管理室、労働資料室、団体事務室

※令和5年3月に休館し、令和6年4月から改修工事を開始

4 市民館・図書館について

	市民館（公民館）	図書館
設置状況等	<p>各区に1館（計7館）の、「公民館」と大ホールやギャラリーを備えた「文化会館」の2つの機能を持つ市民館（川崎区においては教育文化会館）を設置しています。</p> <p>また、地域に密着した施設として6館の分館を設置し、市民の主体的な学習活動を支援しています。</p>	<p>各区1館の地区図書館（計7館）、5館の分館と1館の閲覧所を設置し、13館をネットワークシステムで結び、一体的に運営しています。また、自動車文庫が市内循環を行っています。</p> <p>さらに、市内9か所に返却ボックスを配置するなど、市民の利便性の向上を図っています。</p>

分館のうち、市民館・図書館の両機能を備える館は**プラザ館**と呼ばれ、施設管理・運営は区役所が行っている。（該当施設）**大師分館、田島分館、日吉分館、橋分館**

※詳細は、「今後の市民館・図書館のあり方」（令和3(2021)年3月策定）を参照
<https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000115175.html>

5 市民館・図書館への指定管理者制度導入予定時期

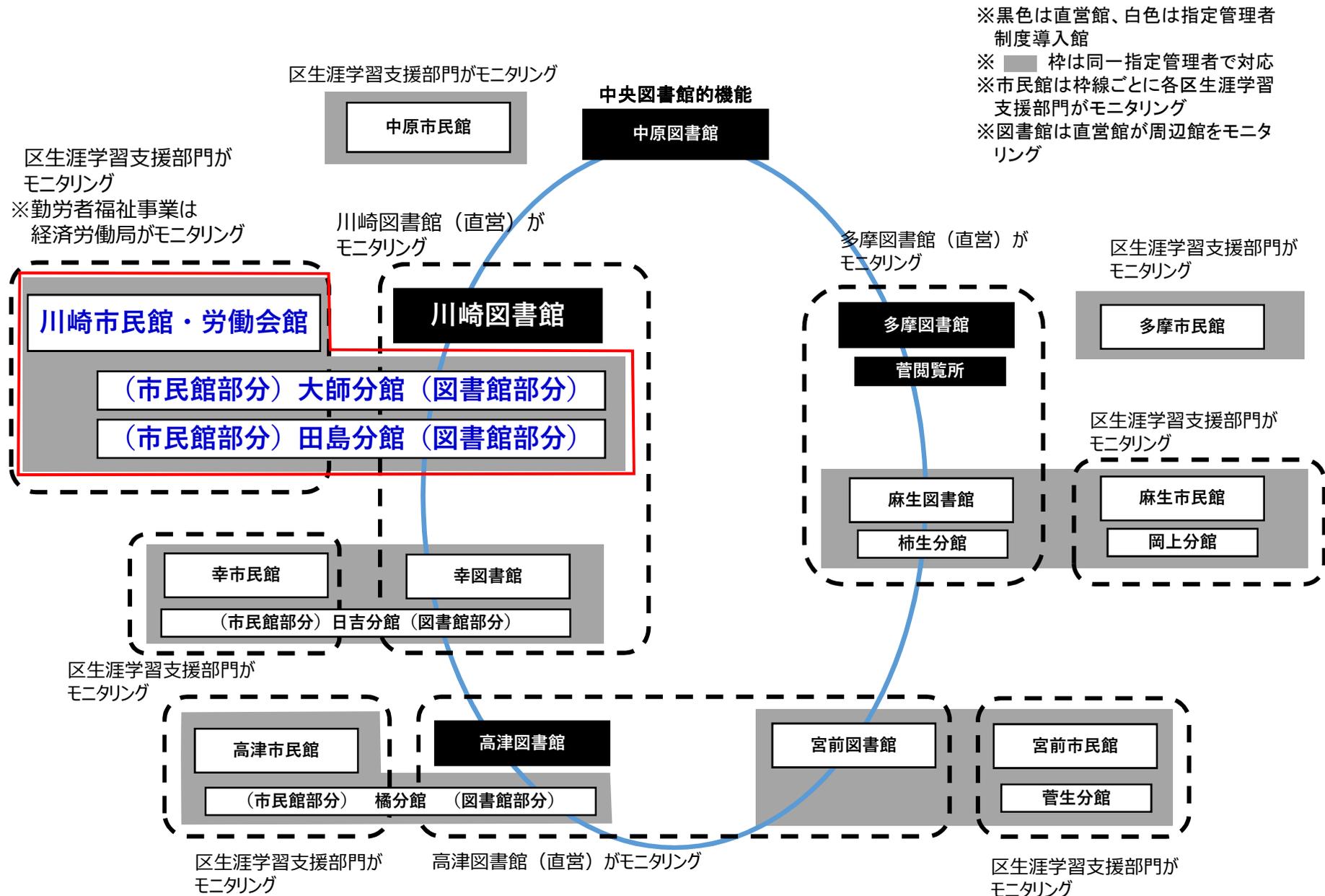
【市民館】

市民館	導入予定時期
川崎市民館・労働会館	令和8(2026)年9月
大師分館(プラザ大師)	令和8(2026)年9月
田島分館(プラザ田島)	令和8(2026)年9月
幸市民館	幸市民館の改修工事後
日吉分館(プラザ日吉)	幸市民館の改修工事後
中原市民館	令和7(2025)年4月 確定
高津市民館	令和7(2025)年4月 確定
橘分館(プラザ橘)	令和7(2025)年4月 確定
宮前市民館	宮前市民館の移転後
菅生分館	宮前市民館の移転後
多摩市民館	令和8(2026)年4月
麻生市民館	令和8(2026)年4月
岡上分館	令和8(2026)年4月

【図書館】

図書館	導入予定時期
川崎図書館【直営館】	—
大師分館(プラザ大師)	令和8(2026)年9月
田島分館(プラザ田島)	令和8(2026)年9月
幸図書館	幸図書館の改修工事後
日吉分館(プラザ日吉)	幸図書館の改修工事後
中原図書館【直営館】	—
高津図書館【直営館】	—
橘分館(プラザ橘)	令和7(2025)年4月 確定
宮前図書館	宮前図書館の移転後
—	—
多摩図書館【直営館】	—
麻生図書館	令和8(2026)年4月
柿生分館	令和8(2026)年4月

6 市民館・図書館への指定管理者制度導入後の各館関係図



7 今後のスケジュール(予定)

令和7年7月～9月 指定管理者募集

令和7年10月 民間活用事業者選定評価委員会
(指定管理予定者の選定)

令和7年12月 指定議案の市議会への提出
(指定管理者の指定)

令和8年1月～ 協定書締結

令和8年1月～ 市から指定管理者への引継ぎ・
指定管理者による運営開始準備

令和8年9月 指定管理開始

8(1) 施設詳細

【導入施設】

令和8年9月（予定）から、川崎市民館・労働会館、川崎市民館・労働会館大師分館、川崎市民館・労働会館田島分館、川崎図書館大師分館、川崎図書館田島分館への導入を予定しております。事業者は5施設で1事業者の募集をします。

【施設詳細】

名 称	川崎市民館・労働会館	川崎市民館・労働会館 大師分館	川崎図書館大師分館	川崎市民館・労働会館 田島分館	川崎図書館田島分館
位 置	川崎区富士見 2丁目5番2号	川崎区大師駅前1丁目1番5号 川崎大師 パーク・ホームズ 2階		川崎市川崎区追分町16番1号 カルナーザ 川崎4階	
延べ床面積	10,031㎡	1,032㎡		890㎡	
施設内容	ホール、ミニホール、 ルーム、実習室、 図書コーナー等	学習室、実習室、 和室等	蔵書数 4万8千冊	学習室、実習室、 和室等	蔵書数 4万5千冊
建築年月日	令和8年7月(予定)	平成7年11月		平成4年10月	
利用時間	午前9時から 午後9時半まで	午前9時から 午後9時まで	・月～金曜日 午前10時から 午後6時まで ・土・日曜・祝休日 午前10時から 午後5時まで	午前9時から 午後9時まで	・月～金曜日 午前10時から 午後6時まで ・土・日曜・祝休日 午前10時から 午後5時まで
休館日	12月29日から翌年 の1月3日までの日	(1)毎月第3月曜日 (2)12月29日から翌年の1月3日までの日			

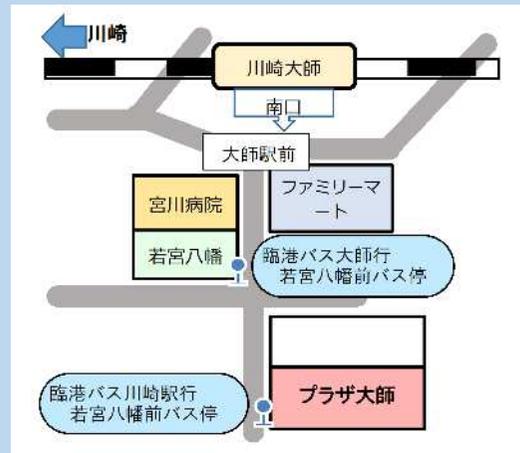
8(2) 施設詳細(交通案内)

【川崎市民館・労働会館】



- JR川崎駅から徒歩21分
川崎駅前バスターミナルから市営バス
または臨港バスで「労働会館前」下車

【川崎市民館・労働会館大師分館】 【川崎図書館大師分館】



- 京急川崎駅から京急大師線「川崎大師」下車 徒歩6分
- 臨港バス 川23系統「大師」行きで「若宮八幡前」下車

【川崎市民館・労働会館田島分館】 【川崎図書館田島分館】



- JR川崎駅東口バスターミナルから臨港バス「大師」行き、「三井埠頭」行きで「大島三丁目」下車
- 大師方面から臨港バス「川崎駅前」行きで「四ツ角」下車
- 小田方面から臨港バス「京町循環」線で「鋼管病院前」下車

8(3) 施設詳細(川崎市民館・労働会館)

【川崎市民館・労働会館の施設概要】

室名		階数	想定定員 ※	
ホール				
ホール		1～2階	670人	
	楽屋(5室)	1～2階	4～10人	
	リハーサル室	3階	25人	
ミニホール		4階	150人	
	楽屋	4階	4人	
多目的室				
ルーム(11室)	1～3	1～2階	各36人	
	4、5	3階	各18人	
	6		36人	
	7	4階	30人	
	8		72人	
	9		36人	
	10	5階	72人	
	11		90人	
	交流室	5階	30人	
	教養室			
	体育室(2室)	1、2	B1階	各40人
スタジオ(4室)	1～3	B1階	8～16人	
	4	3階	12人	
音楽室		1階	40人	
和室(2室)	1、2	3階	20～40人	
料理室		4階	20人	
実習室(2室)	1、2	5階	10～24人	
その他				
オンラインルーム (室内に打合せスペース・個人ブースを設置)		4階	—	
市民ギャラリー		1階	約90㎡	

室名		階数
オープン利用施設	オープンスペース (6か所)	B1 (B1階) 1 (1階) 2 (2階) 3 (3階) 4 (4階) 5 (5階)
	市民活動コーナー(作業室含む) (オープンスペース2に設置)	2階
	図書コーナー(閲覧席含む)	2階
	児童室 (授乳室・キッズトイレ含む)	3階
	ロッカースペース	1～2階
	更衣室(男・女・多目的各1室)	B1階
	売店/飲食スペース	1階
	駐車場	屋外
	駐輪場	屋外

※想定定員は、利用できる概ねの人数を示しています。
一部、人数以外で表記している施設もあります。

(仮称)川崎市民館・労働会館 管理運営計画(令和4年
(2022)年5月)より抜粋

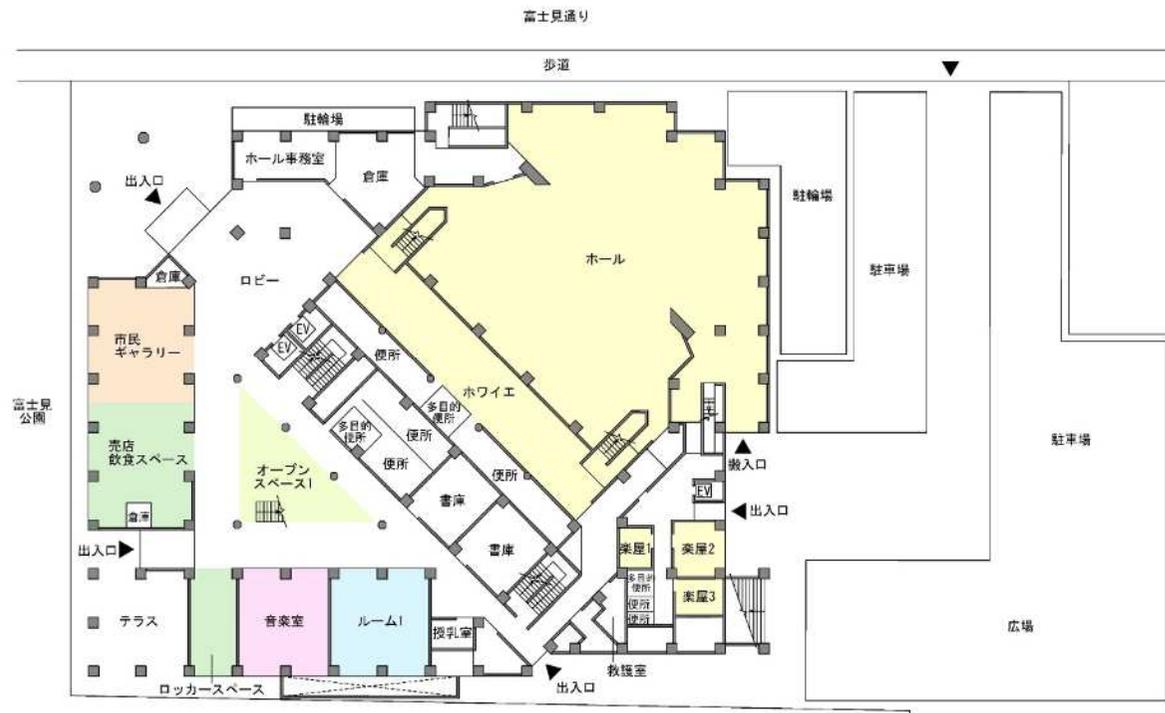
8(4) 施設詳細(川崎市民館・労働会館)

【川崎市民館・労働会館】

地下1階



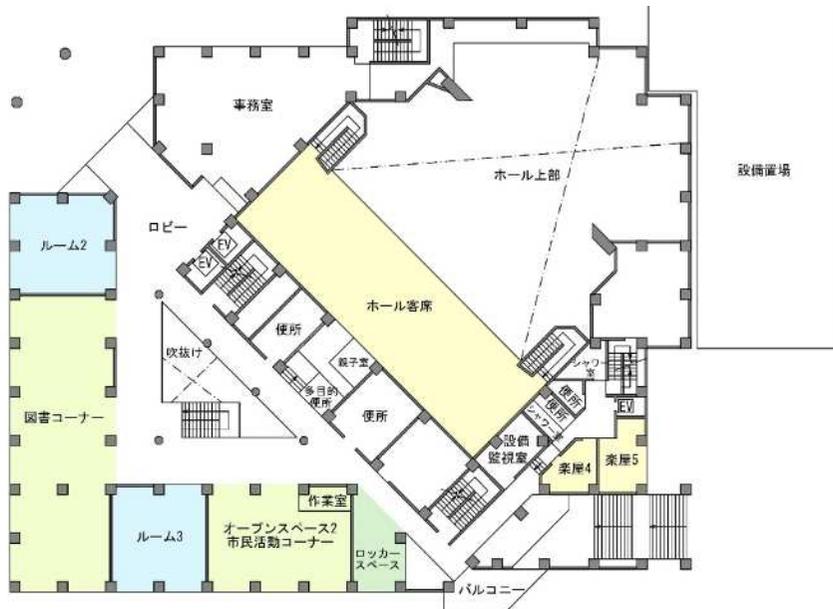
1階



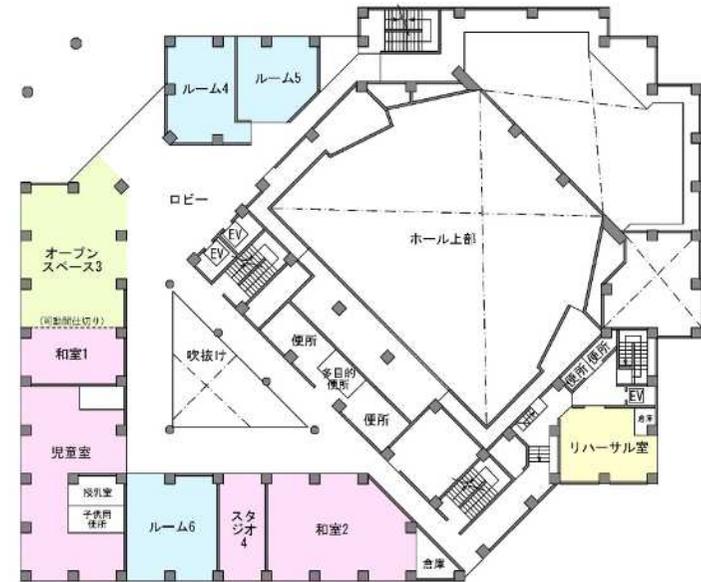
8(5) 施設詳細(川崎市民館・労働会館)

【川崎市民館・労働会館】

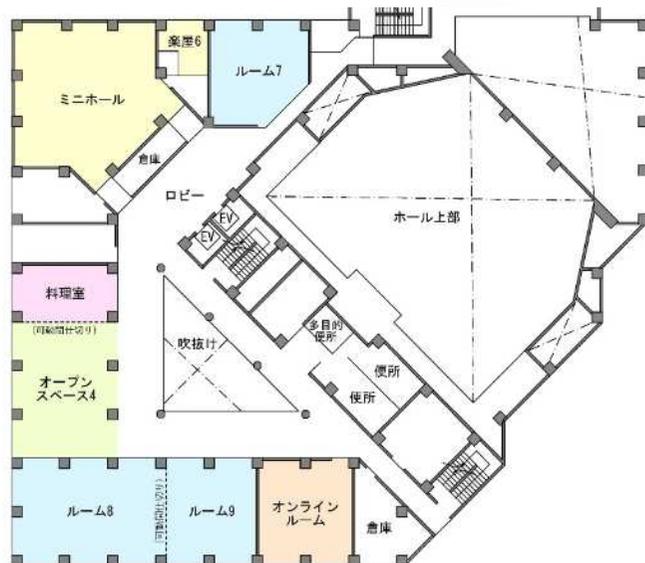
2階



3階



4階



5階

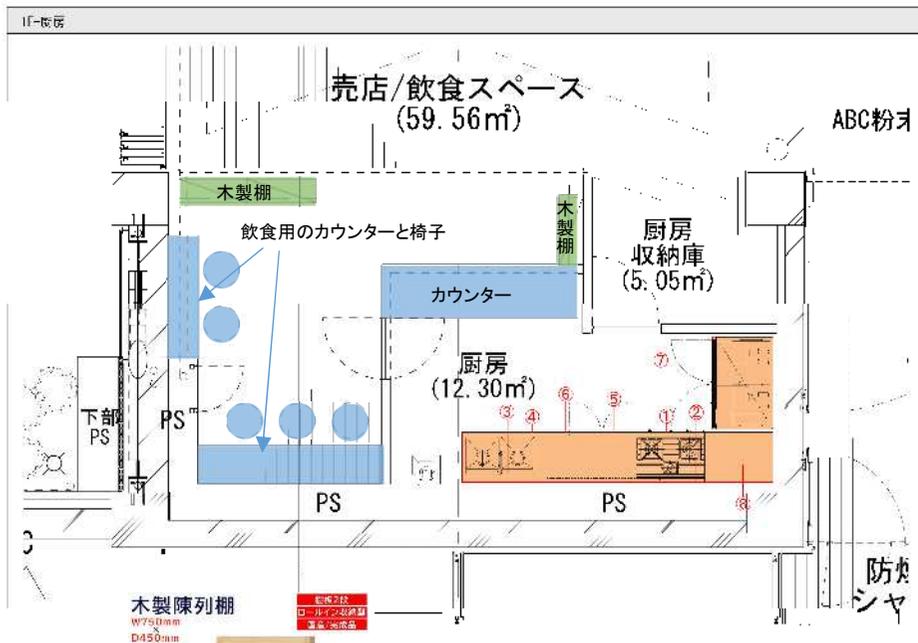


8(6) 施設詳細(川崎市民館・労働会館)

【川崎市民館・労働会館】(抜粋し再掲)

売店・飲食スペース

■ 厨房機器配置



木製陳列棚
W750mm
D450mm
H1200mm



木製棚



④二槽シンク



⑤テーブル型冷蔵庫



①ガステーブル



③シングルレバー引き出し混合栓



⑦冷凍冷蔵庫



⑥⑧天板

■ 厨房機器リスト

№	品名	参考メーカー	形式	台数	幅	奥行	高さ	備考
①	ガステーブル	Ultimo	TG-A-0521	1台	900	600	850	
②	バックスメジッター			1台	900	50	200	
③	シングルレバー引き出し混合栓	KAJUDAI	118-049	1台				
④	二槽シンク		12S-12E-A	1台	1300	650	850	
⑤	テーブル形冷蔵庫	ホシザキ北沢株式会社	RT-120SA-0-1	1台	1200	600	850	定格内容積: 240L、トップファン仕様、インバーター制御(LED省エネルギー)
⑥	天板製作			1台	1360	650	40	仕様: ステンレス
⑦	冷凍冷蔵庫	ホシザキ北沢株式会社	HRF-120A-	1台	1200	600	1810	定格内容積: 386L(冷蔵室75L、冷凍室291L)、トップファン仕様、インバーター制御、背地フィルター、エアフィルター(前面が着脱可能)、エバレーション装置(省エネ20%)
⑧	天板(伊つき)製作			1台	800	650	850	仕様: ステンレス

■ (参考) 機器イメージ

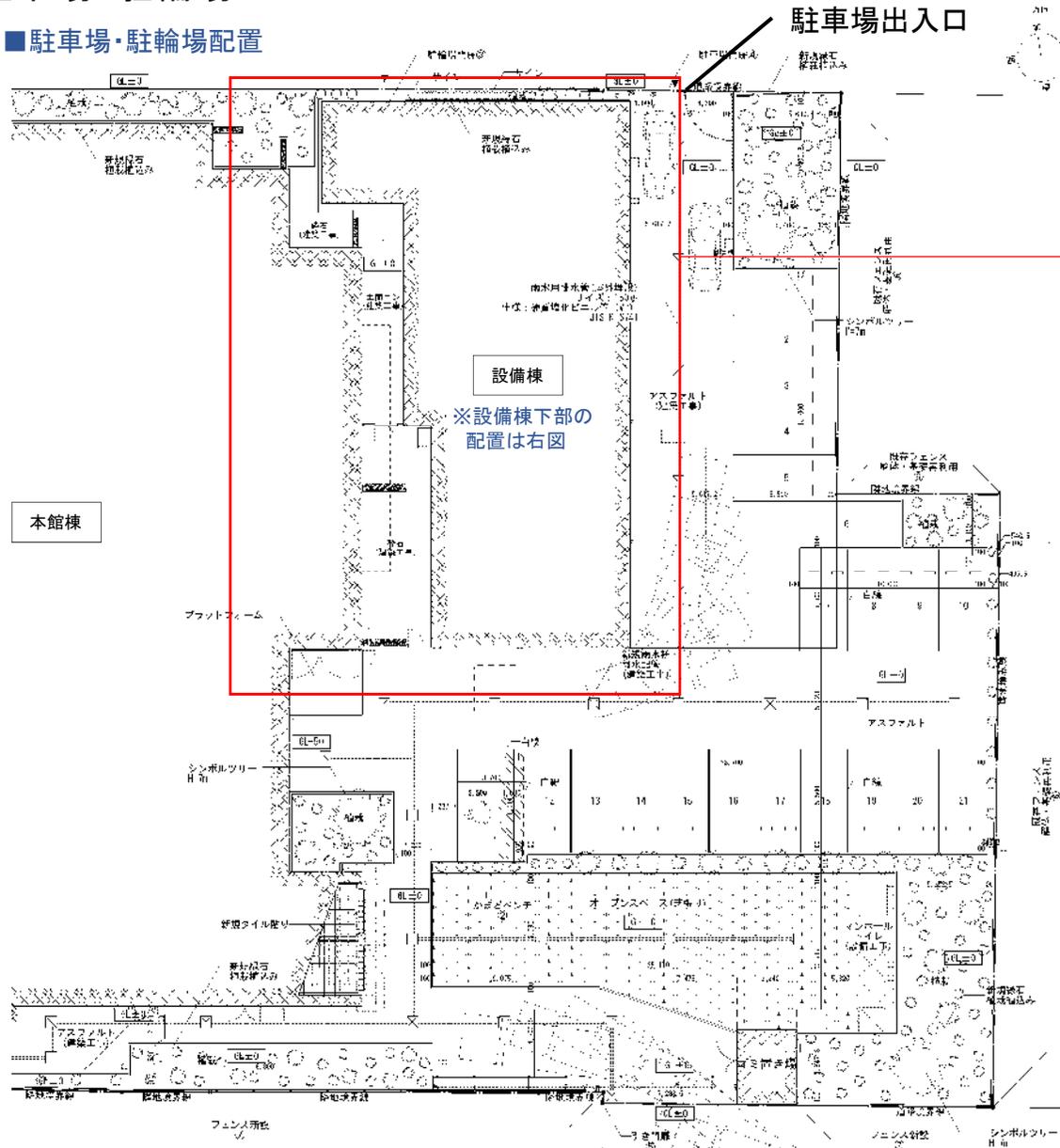
※今後の工事に変更になる場合があります。

8(7) 施設詳細(川崎市民館・労働会館)

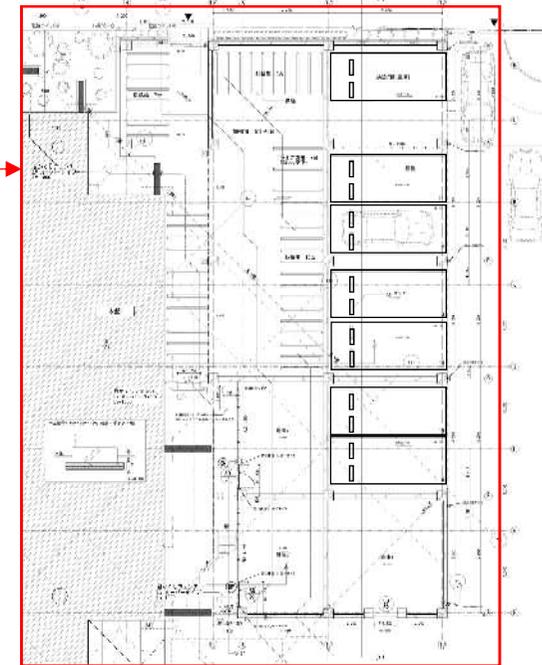
【川崎市民館・労働会館】(抜粋し再掲)

駐車場・駐輪場

■ 駐車場・駐輪場配置



■ 設備棟下部の配置



※今後の工事で変更になる場合があります。

8(8) 施設詳細(川崎市民館・労働会館大師分館、川崎図書館大師分館)

【川崎市民館・労働会館大師分館、川崎図書館大師分館】

1階



2階



8(9) 施設詳細(川崎市民館・労働会館田島分館、川崎図書館田島分館)

【川崎市民館・労働会館田島分館、川崎図書館田島分館】

1階



4階



9 市民館の現状と課題

市民館の現状と課題

市民館は、貸館事業と社会教育振興事業（講座）を行っています。

●貸館事業の状況（受付・貸館・施設維持管理業務は業務委託）

過去5年間（平成27～令和元年）の市民館の平均利用率は、ホールが約75%、会議室が約63%、音楽室や料理室等の教養室が約55%となっており、諸室の性質によって利用状況に差が出ています。また分館の平均利用率は50%を下回る状況です。

→ニーズの変化に対応した施設提供や情報発信、余剰スペースを活用した会話・ふれあいを楽しめる居場所づくりなどが必要です。

●社会教育振興事業の状況（館を中心とした社会教育振興事業は直営で実施）

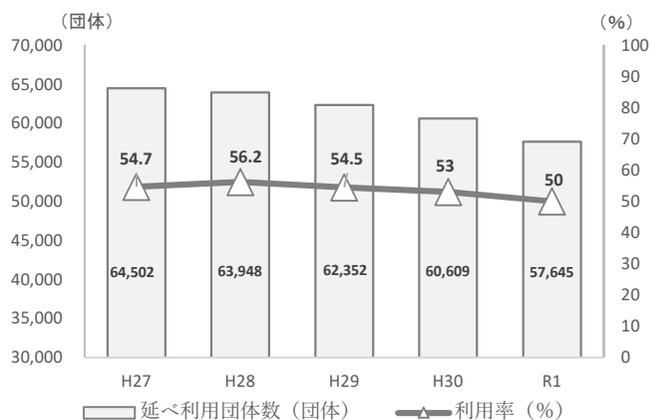
過去5年間（平成27～令和元年）の事業への参加者数は、ほぼ横ばいの状況です。また事業の多くは市民館及び分館を拠点として実施しています。現在もそれぞれのライフステージに応じた講座のテーマ設定等により利用促進に取り組んでおりますが、事業参加者の年代については、若い世代の参加が少なく、約半数が60歳代以上で、そのうち約25%が70歳代以上です。

→引き続き、シニアの活躍の場を提供するとともに、幅広い世代に向けた学習活動への動機づけやきっかけづくり等のエントリー機能が必要です。

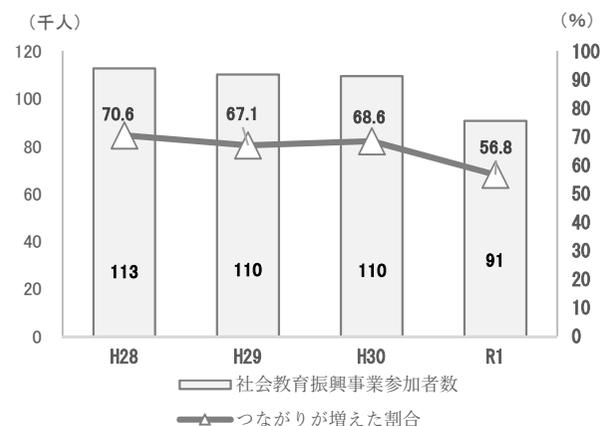
→より参加しやすく魅力的な事業を行うとともに、全ての世代を対象に、学習機会の充実を図ることが求められています。

→市民館及び分館を地域の生涯学習の拠点としながら、これまで以上に地域の中に学びや活動の場を増やしていく必要があります。

教育文化会館・市民館における
延べ利用団体数と利用率の推移



社会教育振興事業参加者数とつながりが増えた人（アンケート結果による）の割合の推移



※教育委員会事務局調べ

※令和元（2019）年度は年度末に新型コロナウイルス感染症の影響あり

10 図書館の現状と課題

図書館の現状と課題

図書館の主な業務としては次のとおりです。

選書、新規利用者登録、レファレンスサービスは直営で行い、貸出し・返却カウンター、配架、予約巡回、書庫出納等は業務委託で行っています。

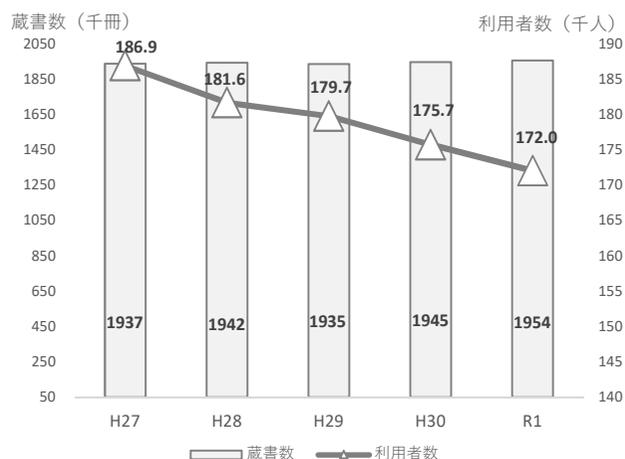
※分館については業務のすべてを直営で行っています。

● 図書の貸出・閲覧スペースの提供

- ・利用者数、貸出人数、貸出冊数、入館者数ともに減少傾向です。
- ・図書館利用者アンケートでは、閲覧席の不足や老朽化した施設の改善等、居心地のよい環境を望む市民意見が寄せられています。

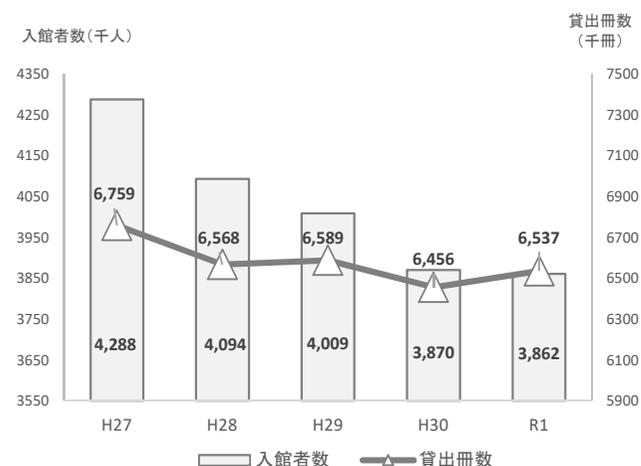
→市立図書館を利用したことがある人は約6割という状況（令和元年度かわさき市民アンケート）のなかで図書館を多くの市民に利用していただくため、多様な来館目的に応じた居心地のよい施設環境づくりに向け、館内の限られた空間を有効活用し、スペースの使い方などの運営・利用ルールの見直し、魅力あるサービスや事業の展開による利用の促進が求められています。

蔵書数と利用者数の推移



※利用者数：図書館に利用登録をしている人のうち図書館サービスを利用した人数

入館者数と貸出冊数の推移



※教育委員会事務局調べ

※平成30（2018）年度は図書館システム機器更新のため全館2週間～1ヶ月間休館あり

※令和元（2019）年度は年度末に新型コロナウイルス感染症の影響あり

11(1) 労働会館の現状と課題

労働会館の現状と課題

労働会館では、指定管理者制度を導入し、貸館事業、勤労者福祉事業（講座等）、労働資料室の運営を行っています（令和5年4月から川崎市民館・労働会館の供用開始までは休館）。

●貸館事業の状況

過去5年間（平成30年～令和4年）の平均利用率は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全体で43.1%、ホールが約60%、会議室・研修室が約54%、工芸教室、茶室等の教養室が約45%、交流室が約20%となっており、諸室の性質によって利用状況に差が出ています。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響がない平成30年の利用率は全体で51.1%、ホールが約69%、会議室・研修室が約60%、工芸教室、茶室等の教養室が約56%、交流室が約28%となっています。

→勤労者が「憩い・語り・学びあう」施設として、新しい働き方やニーズの変化に対応した場所の提供や、情報発信が必要です。

●売店、レストランの状況

売店、レストランについても、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、影響が少なくなった令和4年以降は周辺地域に徐々に認知され、利用者をはじめ周辺地域住民の方々にもご利用いただいています。

【令和4年度の実績】

項目	弁当	レストラン	合計
売上	6,016,117円	8,375,059円	14,391,176円
利用者	3,597人	8,135人	11,732人

項目	売店
売上	1,667,320円
利用人員	8,097人

●勤労者福祉事業の状況

勤労者福祉事業として、昭和29年から開催され、令和6年度で71年目、開講数120期を迎える歴史と伝統のある労働学校（※）の他、勤労者向けに資格取得講座、教養講座を実施しています。

※令和5年度以降は川崎市が直営で実施

労働学校（令和6年実績）

- ・開催時期：令和6年10月17日～令和6年12月5日
- ・回数：全15回
- ・開催場所：川崎市生活文化会館
- ・受講者数：42人
- ・受講料：3,300円（消費税込）

11(2) 労働会館の現状と課題

●労働資料室の状況

労使に関する各種資料を収集・整備し、情報提供や分析を行うことで、勤労者の地位向上を図ることを目的として、昭和51年10月1日、労働会館内に設置。労使間の諸問題や勤労者福祉の向上を図る調査・研究などについて、勤労市民、経営者、研究者、市民等の労働分野の活動に役立つ専門図書館を目指し、労働関係図書をはじめ、雑誌、新聞、機関誌、各種調査資料など43,076点(冊)を収蔵しています。

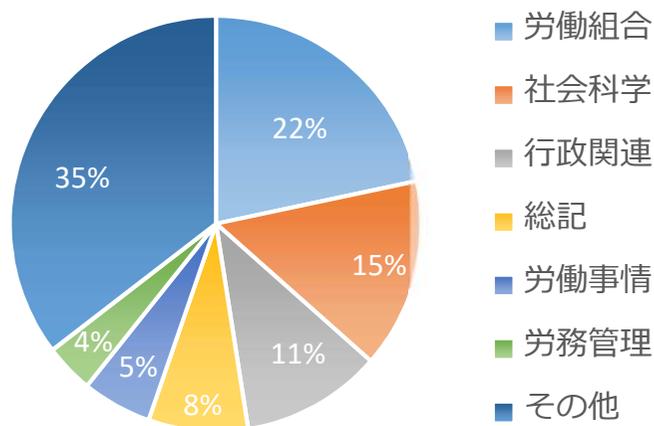
なお、教育文化会館との再編整備により、令和5年4月1日から川崎市民館・労働会館の供用開始する令和8年9月までの期間は労働会館が休館することから、教育文化会館に仮移転し、運営を継続しています。

新施設では、労働資料に加え、一般図書等を配架し、貸出も行う図書コーナーを設置します。

<労働資料について>

労使に労働資料室が収蔵している43,076点(冊)の労働資料を内容別に分類すると「労働組合」が9,610点と最も多く、次いで「社会科学」6,546点、「行政関係」4,889点の順となっています。また、年代別では、1980年代が10,270点と最も多く、次いで、1970年代(9,511点)、1990年代(7,033点)の順となっており、100年以上前に発行された資料も存在します。

【労働資料の分類】

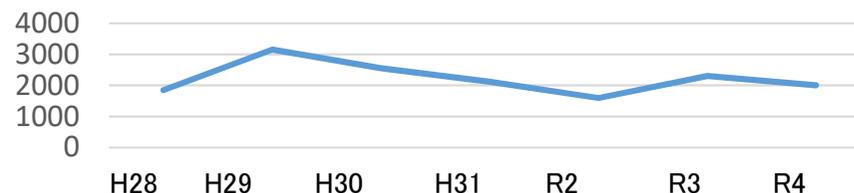


<利用状況について>

労働資料室では、労働に関する専門拠点として、一般市民、勤労者を中心に年間約2,000人程度の利用実績があり、約300点(冊)の貸出を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者、貸出数ともに、減少している状況のため、資料のデジタル化や市民への情報発信などについて工夫が必要な状況です。

【利用者数の推移】



利用目的	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
閲覧	1,573	1,627	1,454	1,997	1,664
貸出	899	479	130	298	298
相談	86	9	3	11	39
合計	2,558	2,115	1,592	2,306	2,001

12 民間事業者様に御意見を求めたい事項

1 参画するための課題はありますか。

- ・新施設に参画するために特に必要な情報
- ・3つの施設を効率的・効果的に管理運営するための手法
- ・市民館業務、図書館業務、勤労者福祉業務をバンドリングすることによる参加障壁や対応策
- ・売店・飲食スペースの運営手法や必要備品
- ・駐車場の管理運営に必要な設備機器の設置手法 等

2 民間事業者様のノウハウを発揮するためのアイデアはありますか。

- ・新設の複合施設を効率的・効果的に管理運営するためのアイデア
- ・ロビー等フリースペースの有効活用
- ・アルコールを含む飲食を可能とする施設運営
- ・労働資料の活用を含めた図書コーナーの運営手法
- ・利用率、利便性を向上するための効果的な手段 等

3 その他、御提案や御意見

- ・引継ぎ期間や竣工後の準備期間、費用負担
- ・新施設における水道光熱費や修繕費の必要経費 等